【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公開番号】特開2007-243441(P2007-243441A)
【公開日】平成19年9月20日(2007.9.20)
【年通号数】公開・登録公報2007-036
【出願番号】特願2006-61326(P2006-61326)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　1/04　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　1/04　１０６Ａ
Ｈ０４Ｎ　1/12　Ｚ
Ｇ０６Ｔ　1/00　４３０Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成21年9月28日(2009.9.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
原稿を搬送する原稿搬送手段と、
画像を読み取る画像読取手段と、
前記画像読取手段の原稿読み取り位置よりも原稿搬送方向に対して上流に設置され、原稿を前記原稿搬送手段により搬送しながら原稿の複数の頂点を検出する検出手段と、
前記画像読取手段による原稿の読取位置に原稿が到達する前に、前記検出手段の検出結果に基づいて、前記画像読取手段で読み取る画像サイズを決定するサイズ決定手段とを備えることを特徴とする画像読取装置。
【請求項２】
前記画像読取手段で読み取られた原稿の画像データを蓄積する蓄積手段と、前記読取位置に原稿が到達する前に、前記サイズ決定手段で決定された画像サイズに応じて、前記蓄積手段の蓄積領域を確保する蓄積領域確保手段とを備えることを特徴とする請求項１記載の画像読取装置。
【請求項３】
前記検出手段は前記原稿搬送方向と直交する方向に配置された発光部材と受光部材とを備え、前記発光部材と前記受光部材との間を原稿が通過することにより、原稿が前記検出手段を通過した位置とタイミングとを検出することを特徴とする請求項１又は２記載の画像読取装置。
【請求項４】
原稿を搬送する原稿搬送手段と、画像を読み取る画像読取手段と、前記画像読取手段の原稿読み取り位置よりも原稿搬送方向に対して上流に設置されたセンサーとを備える画像読取装置の制御方法であって、
原稿を前記原稿搬送手段により搬送しながら原稿の複数の頂点を前記センサーで検出する検出工程と、
前記画像読取手段による原稿の読取位置に原稿が到達する前に、前記検出工程により検出された検出結果に基づいて、前記画像読取手段で読み取る画像サイズを決定するサイズ

決定工程とを備えることを特徴とする画像読取装置の制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】画像読取装置、及び当該装置の制御方法
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、画像読取装置、及び当該装置の制御方法に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明の目的は、原稿の読み取り生産性を低下させずに確実に画像全領域を読み取ることができる画像読取装置、及び当該装置の制御方法を提供することにある。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上述の目的を達成するために、請求項１記載の画像読取装置は、原稿を搬送する原稿搬送手段と、画像を読み取る画像読取手段と、前記画像読取手段の原稿読み取り位置よりも原稿搬送方向に対して上流に設置され、原稿を前記原稿搬送手段により搬送しながら原稿の複数の頂点を検出する検出手段と、前記画像読取手段による原稿の読取位置に原稿が到達する前に、前記検出手段の検出結果に基づいて、前記画像読取手段で読み取る画像サイズを決定するサイズ決定手段とを備えることを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項４記載の画像読取装置の制御方法は、原稿を搬送する原稿搬送手段と、画像を読み取る画像読取手段と、前記画像読取手段の原稿読み取り位置よりも原稿搬送方向に対して上流に設置されたセンサーとを備える画像読取装置の制御方法であって、原稿を前記原稿搬送手段により搬送しながら原稿の複数の頂点を前記センサーで検出する検出工程と、前記画像読取手段による原稿の読取位置に原稿が到達する前に、前記検出工程により検出された検出結果に基づいて、前記画像読取手段で読み取る画像サイズを決定するサイズ決定工程とを備えることを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
本発明によれば、原稿が斜行したとしても、原稿の読み取り生産性を低下させずに確実に画像全領域を読み取ることができる。